

第3学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年12月10日(土)第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立興本小学校
 指導者 1組 34名 指導者 板垣有希乃
 2組 33名 指導者 平山 潤

- 1 主題名 家族の温かさ
- 2 教材名 一まいの銀貨
- 3 本時のねらい 家族の無償の愛に気づき、父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って暖かい家族をつくろうとする心情を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点
導 入	1 家族について話し合う。	○「家族」という言葉から、どんなことをイメージしますか。 C：大切なもの C：大好き C：たからもの C：いつも一緒にいる	・言葉のもつイメージを発表し合うことを通して、ねらいとする家族にかかわる価値の関心が高まるようにする。
	2 学習課題を設定する。	○家族について考えよう	
展 開	3 本文を読み、話し合う。	○お話を読んで、家族についてどんなことを思いましたか。 C：お母さんはハンスのことを思って銀貨を渡すところが優しいと思った。 C：お母さんが渡した銀貨は、落とした銀貨ではないと思う。 C：お母さんが何も言わなかったのは何でだろう。 ○お金をなくしてしまったハンスは、どんな気持ちだったでしょう。 C：どうしよう。 C：お父さんが働いて稼いだお金なのに、失くしたと言ったらきっと怒られる。 ◎お母さんは、どんな気持ちでハンスに銀貨を渡したのでしょうか。 C：泣くなんてよっぽどのことだね。 C：一度の失敗ぐらい気にしないでいいのよ。	・気になる場面の感想を語らせながら、教材の話し合いしたいこと（中心発問）につなげ、話し合いの方向性を定めていくようにする。 ・ハンスとお母さん、それぞれの立場の気持ちに共感させ、特に子どもを信じて理解する優しい母の愛情について深く掘り下げて話し合わせるようにする。
終 末	4 自己の生活を振り返り、「家族の大切さ」について話し合う	○家族のために役立つことをしたときの自分の気持ちを、思い出してみましょう。 C：お母さんが喜んでくれたから嬉しかった。 C：役立つことをしてよかった。	・ハンスとお母さんのそれぞれの思いを話し合ったうえで、家族について問うようにする。家族を支えることや家族に対する愛情について考えを深めていく場につなげていくようにする。

- 5 評価 ・父母や家族に敬愛や感謝の念を抱き、自分も家族の一員であることを認識して、自分のこれからの生き方について考えを深めていたか。【ノート】

道徳の授業についてのご意見、ご質問がありましたら下の URL または QR コードよりご記入ください。

<https://forms.gle/2xG5gCi3UXN2GGGb7>

